

農業融資資格制度『ＪＡバンク農業金融プランナー』について

1 資格制度導入の趣旨・経緯

ＪＡバンク（ＪＡ・信連・農林中央金庫）の事業戦略である「ＪＡバンク中期戦略（平成 25～27 年度）」では、「農業メインバンク機能」の強化を最重要テーマと位置付け、正組合員を中心とした中小個人農業者への農業金融サービスの提供に加え、大規模農家・農業法人等の専門的なニーズへ応えていくための取組みを進めることとしております。

「農業メインバンク機能」の強化に向けた具体的取組事項の一つとして、全国共通の研修制度・資格制度を導入することを通じ、ＪＡ農業融資担当者等の人材育成に取り組むこととし、平成 23 年度に本資格制度を創設しました。

資格取得を通じてＪＡバンクの農業融資担当者等の資金相談・経営相談への対応力向上につなげ、農業者の一層の満足度向上を図ることを目的としています。

2 資格制度の概要について

- 農業融資にかかる通信研修・業務検定試験を平成 23 年度に新設（研修事務局は農林中央金庫の子会社・農林中金アカデミー）、業務検定試験の合格者に対して、ＪＡバンク中央アカデミー※¹ が対外呼称『ＪＡバンク農業金融プランナー』を付与。
- 主な資格取得の対象者は、農業金融サービスの提供窓口として資金相談・農業経営相談等の役割を担うＪＡバンク職員を想定。担い手金融リーダー※²に加え、農業融資担当者等の信用部門職員、さらに営農経済等他事業部門職員の受験も期待しています。
- 本資格制度に連動する通信研修「農業融資コース」を平成 23 年 4 月に開講。研修の主な内容は以下のとおりです。
 - 基礎知識（農業の現状、農地制度、業界動向 等）
 - 農業経営把握・分析（農業簿記、農業税務、農業労務、経営分析 等）
 - 農業融資実践（融資審査、経営改善提案、ビジネスマッチング 等）
- 業務検定試験「農業融資実務」の出題範囲は、上記の通信研修と連動。

※1

ＪＡバンクとして人材開発を一体的に行いつつ一層強化するために、農林中央金庫と農林中金アカデミーを「ＪＡバンク中央アカデミー」と称しています。

※2

担い手金融リーダーとは、ＪＡバンクグループ各組織における農業金融にかかる企画・推進リーダーであり、平成 17 年度から設置しています。平成 26 年 10 月 1 日現在の設置人数は、ＪＡ・信連・金庫合計で 2,032 名です。